

「光洋」という会社に運営を任せる事になりました。本州の大手で、全国のたくさんさんの病院を手掛けている企業です。自前で焼くフランスパンや地元の食材を使った弁当や地物などを産直する店舗を作ることになると思っています。

また、患者がくつろぎながら、ここで会話を楽しんだり病気の情報などを調べたり出来る「患者図書スペース」を併設します。

医療に関連する図書や新聞、机やコンピュータを病院で用意しますが、病気のことやコンピュータを使えるボランティアの皆さんなら、患者さんと同じ気持ちになれますから相談もしやすいと思っています。ただ図書の貸し出しは煩雑になりますので難しいと考えています。今後ボランティアの皆さんと話し合ってみよう

と思っています。新病院には緩和病棟と歯科口腔科が新設されます。

緩和病床は20床で、準備を進めています。良い先生がきてくれて有り難いと思っています。

歯科口腔科に関しても、先日、人事募集を始めました。開院に向けて歯科医と歯科衛生士を新たに採用し、身障者の歯科治療も出来る様になると考えています。



流水特急「オホーツクの風」・2月1日から

連携を更に進めるためコンピュータの更新の問題があります。地域の医療機関と介護施設との連携が非常に重要になってきますのでコンピュータの整備を進めています。実際にはどうゆう問題があるのか、職員と地域の方と一生懸命知恵を出している処です。

事務部門、新年度への取り組み

真壁 一つは病院がきちんとした健全経営でいくことが大切になります。

お陰様で2期連続の黒字と言ったことで、今期も何とか頑張つて黒字に収めた。25年度もそれを続けたいですが、やはり母体の経営がしっかり出来ていて、初めていろんなものに投資出来る力が生まれてきますから、事務部門としてはそこをしっかりとやっていきたいということです。

あと今、病院長からお話がありましたけれども、新しいことに向けて準備をしながら、我々事務部門が新しい病院で新しい方法で診療が行われていく、また人の役割が変わっていく、そしてチームで仕事をししていく時の土台を作つて実際に動く準備を確実にやつていくのが25年度の二つの大きな仕事だと思っています。

会員の日赤への希望、熱き思い

谷川 建物も含めて新しい日赤病院が全国レベルでもすごい病院になりそうだと受けとめて、すごくうれしく思いました。いろいろ難しいことがあるけれども、病院の内容を充実させたり変えていかなければならぬなど、僕が予想したよりはるかに突っ込んだところで話し合いがされている様

子が伺えて良かったと思います。中田 前にも言いましたけど、患者は不安な気持ちなので問診の時に先生が一言二言声をかけてくださると、すごく心が和むし、なんか貝わいが悪かったのがちよつと良くなったように感じて帰りま

す。吉田 そうなんです。まあ医学教育の問題もあるんですけどね。

古澤 去年、日赤に随分お世話になったんです、眼科、形成外科と脳神経で。もう一つは小林病院で整形外科と循環器です。まとめるとい

う感じではなかったんですが、整形外科は日赤に行きたかったのですが、紹介が無ければダメだと云われました。何故なんだらうと疑問に思っています。

吉田 それは完全予約制のことです。当院では直接かかれ

ない科が4つあるんです。整形、内科、それに循環器内科と消化器内科の4つが完全予約制をとっています。それは開業医の先生の紹介で見ることには制度的になっています。この他の科はかかれます。だから申し訳ないんですが軽い病気は、まず、開業医にかか



という話を聞かされて、すごく納得したんですが、人に説明する時にはこの絵だけでは説明がしにくいんです。それでこつこつを見つけたんです。「本による大動脈乖離の解説」、これを読むと、心臓から出た血液は時速40Kmで体の中を流れていると、すごく具体的に一頁程の所に書かれている。病気がなつた時に私たちが知りたいのは、一冊の本が知りたいのではなく、その病気の項目を特に知りた

い。そうすると、その本を置いていただいて、そこだけコピーできるような、図書室の横に機器があるとすごくいいと考えています。そうすれば貸し出しシステムが無くていいかなと思います。それから、パソコンが使える人だったら画面で病気をみてメモ(3面につづく)

阿久津 先ほどの院長先生の図書室のことですが、玄関ホールに作つて下さると、これすごくいいなと思っています。実は私「大動脈乖離」で入院して時に斉藤先生がこつこつ絵を描いてくださつて、「貴方の心臓から出ている、この大動脈のこの辺にヒビが入つていて中から血液かにじんできたから痛いんですよ」